

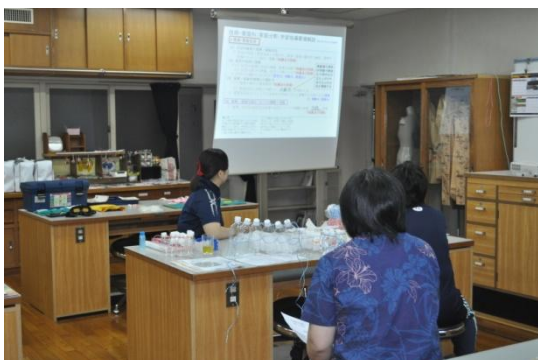
# 第1回中学校家庭科自主講座の様子

1. 日時 6月1日(金) 18:00~20:00

2. 場所 沖縄県立総合教育センター(理科棟内 1階家庭科被服教室)

## 3. 「高齢者(シニア体験)に関する教材研究」

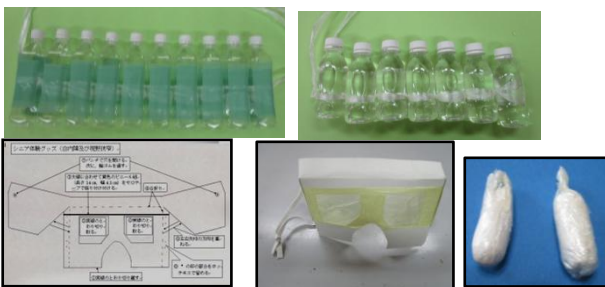
今回は、前半に新学習指導要領解説カリキュラムマネジメントを取り入れた授業について学習を行いました。後半は、新学習指導要領で扱う新設内容に関連して「家族・家庭生活」で扱う、高齢者との関わり方を体験的に学習することを目標に教材作りから授業事例の紹介を行いました。材料費は0円で、手軽に手に入るペットボトル、厚紙、輪ゴム、ビニール紐、等を用いシニア体験グッズを製作しました。教材は、1時間30分で仕上がり製作した教材を使って実際に体験してみました。学校に揃えておくといつでも学校のカリキュラムに合わせて体験的授業(アクティブラーニング)をすることができます。



新学習指導要領に新設された高齢者内容の扱い方について説明しました。



高齢者の介助知識として「自助具」についても紹介しました。



ペットボトルを使用して作った重り(筋力低下体験キット)大小の2種類、白内障視野狭窄体験キット、耳栓です。



製作した教材を使って、高齢者の腕や手の感覚を体験してみました。

### 【感想・要望など】

- 新学習指導要領にA(3)ア(1)が新設されたことと高校での高齢者についての学習内容と実習について知ることができた。お金をかけずにシニア体験の教材が作れた。
- 日頃、じっくり解説を読み込める時間は持たないので、ポイントをまとめた説明が聞け、分かりやすかった。
- 高齢者の関わりについて、個人では、教材研究をどのようにすればよいか悩んでいたが、体験グッズの作成をして体験もでき良かった。